



岡津幼稚園で実習～園児とのふれあいからの学び

12月の月上旬に、「子どもの発達と保育」の授業で、本校の近くの岡津幼稚園のご協力をいただき、幼稚園実習を実施させていただきました。この授業は2講座あり、それぞれが2日間、合計4日間もお世話になりました。



授業で園児の皆さんとどう接するのか、十分に学んできているのですが、いざ、本番を迎えると、戸惑いや緊張でどうしたら良いか分からなくなったようです。しかし、時間の経過とともに、一緒に遊び笑顔を交わし、子供たちにいろいろな事を気付かしてもらったようです。生徒の感想からの抜粋をご紹介します。

「実習を通して、子どもたちはいろいろな事に興味があって、遊びの中でいろいろなことを学び、成長していくんだと感じました。友達と物を共有して使う事や、順番を守ることなど子供の頃から遊びの中でみんな学んでいるのだと知りました。」

「今回の実習の経験を活かして、子どもたち1人ひとりと興味のある遊びで全力で楽しみ、遊びの中で色々なルールを教えられるような保育者になりたいと思いました。」

「子どもがひもを結ぼうとしている時に、なかなかできなくて、『難しいね』と声をかけると『簡単にあきらめたらいけないだよ』と言われ、子どもってこんな事言うんだと驚かされました。上手にできた時にほめてあげると嬉しそうにして、『もう一度頑張る』と笑顔で言ってくれました。ほめることの大切さを感じました。」



32人の生徒は、この体験から自分と向き合い、園児の皆さんから多くのことを学んだようです。「人と出会い、本物に触れる」素晴らしさを、改めて感じています。岡津幼稚園の関係者の皆様に感謝いたします。

生徒の活躍～資格取得と部活動表彰

12月、1月になりますと、検定試験の結果や、部活動の成果が見えてきます。

パソコン基礎、パソコン実践の授業では、ワードやエクセルの技能を高めることを目標としています。今年度は2回のビジネス文書検定事務検定が実施され、1級1名、2級12名、3級42名が合格しています。特に、1級に合格した久野今日子さん(3-7)の努力をたたえたいと思います。

簿記の授業では、簿記能力検定の受検を実施し、52名が3級に合格しました。

電卓実務検定では、1級7名、2級22名が合格しています。特に1級は難関であり、山岸梨菜さん(1-7)、吉川文弥さん(1-7)、堀田舞依さん(2-1)、橋田翔吾さん(2-3)、田村涼太さん(2-4)を含む7名に拍手をおくりたいと思います。



前列左から、山岸さん、井上さん、吉川さん、後列左から、林先生、堀田さん、橋田さん、田村さん

次は部活動です。文芸部の宮本翔平さん(2-5)が第33回神奈川県高校文芸コンクールの「詩の部」において、作品「そらあつめ。」で高文連会長賞を受賞しました。1月18日(日)の神奈川県青少年センターにおける神奈川県高等学校総合文化祭閉会式において賞状の授与が行われます。

職場見学発表会～発信する力と聴く力

12月19日(金)に、1年次MIRAI-aで実施した「職場見学発表会」が行われました。当日は専門学校教職員11名、県内総合学科高校職員10名の方に見学をいただき、メモによる講評をいただきました。

13の職場見学地の代表者が発表したのですが、準備期間が少ない中で、様々なメディアを駆使し、変化に富んだ発表が行われました。模造紙を映像で拡大したり、スライドや動画を入れたり分かりやすい発表を行おうという意図が伝わってきました。特に朝日プリンテック、横浜地方气象台、麒麟ビール工場の発表は印象的でした。

1時間以上に渡る発表でしたが、生徒の皆さんは発表の要点をきちんとまとめていました。仲間の発表をしっかりと聴く気持ちを作ることができていたと感じました。

校長 遠藤 誠